

2. 健康支援のための社会参加・社会貢献

I 現状と課題

従来の健康づくりでは、こうあるべきとする行政主導型でしたが、これからの健康づくりにはこうありたいとする人々の主体的な考え方による楽しめる健康づくりの場も求められます。

例えば、自分の近親者ががんで死亡した場合、がんに対する関心が高まり、自らもがん検診を受ける気持ちになった、という話はよく聞くことであり、身近な人々の動向や、働きかけは、本人への健康づくりに重要な役割を果たしていると考えられます。健康づくりに関する住民の主体的な活動として、自身の健康づくりのための運動サークルやグループ活動と並んで、健康づくりに関わるボランティア活動があります。

本県では従来から栄養改善推進員や母子保健推進員等行政との協力の下、ボランティア団体の活動が積極的に行われています。また、糖尿病をはじめとする各種患者団体による市民向けの教室の開催等の社会貢献活動も推進されてきているところです。

今後も近隣の人への支援や生活習慣改善のための活動にとどまらず、多様な分野で活動が推進されるよう支援する必要があります。

特に、本県では今後急速な高齢化により一人あるいは二人暮らしの高齢者が増えることが予想されます。こうした高齢者が社会参加することにより、ご自身の生きがいや健康が保持されるのみでなく、活動を通じて世代間交流の促進や人とのつながりの強化が期待できると考えます。

また、健康づくり対策に社会として取り組んでいく上で、行政と企業との連携が不可欠であり、人々の健康意識の向上や行動変容に関連する情報を積極的に発信する企業・団体による支援が重要です。本県では、県医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会をはじめとする専門職団体等との協働による健康づくりに関するイベント等が従来から実施されていますが、今後もこれらの活動を推進する必要があります。

II 目標

目標項目	現状（H22 年）	目標（H34 年）
健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている人の割合の増加	2.7% (H23 年)	25.0%
健康づくりに関する活動に取り組み自発的に情報発信を行う企業・団体の増加	12 団体 (H23 年度)	100 団体

Ⅲ 県が実施する具体的施策・取組の方向性

- 1 県民の主体的な活動による健康づくり対策の成功事例の活動内容の把握に努め、情報発信します。
- 2 健康づくりに自発的に取り組む企業・団体等の活動を把握し、県民に情報提供するとともに、行政等地域と職域の更なる連携推進を図ります。
- 3 住民の主体的な活動を推進するための人材の育成を支援します。

Ⅳ 県民・関係団体等の活動

県民・家庭	◇地域や市民団体の活動に興味を持つようにしましょう。
市町村	◇行政と協力して進める各種推進員活動において、主体的な活動が推進されるよう働きかけを進めます。 ◇管内の自主サークルや団体の活動について PR を進めます。
保健医療・教育 関係団体	◇県・市町村と連携し、県民の健康づくりを支援する活動に協力するとともに団体が実施する保健サービスの PR に努めます。 ◇健康課題を共有し、連携の推進を図ります。 ◇人材育成のための技術支援（人材・教材・情報等）に協力します。
企業・団体	◇団体等が実施する教室やイベントについて、利用の拡大に向けた広報活動を実施します。 ◇他の団体の活動にも関心を向け、ネットワークの形成に協力します。